

小山のエンタメ・グルメ・スポーツ・農業 ま る ご と お 届 け



小山・下野・栃木・野木
70,500部無料配布
お問合せ TEL 0285-38-7555
発行所 株式会社 まるごと新聞社
〒323-0025
小山市城山町3-6-25 SEKEN内
TEL0285-38-7555

発行人 高島 裕二

演奏者の息遣いさえ感じられる空間で クラシックを聴く

サントリーホール、
カザルスホールを手がけた
永田穂さんが音響設計

西方音楽館館長
中新井紀子さん

西方音楽館
Tel.0282-92-2815 ホームページ <http://wmusic.jp>
322-0601 栃木市西方町金崎342-1 (駐車場有)

「この空間との相性がいいんです」という西方音楽館常設の銘器ニューヨークスタインウェイBを背に

例幣使街道の宿場のひとつであった金崎宿の名残をとどめる栃木市西方町の街道沿いに蔵造りの建物がいくつもある。その一つが西方音楽館。通りから眺めると、幾種類もの樹木が敷地を覆っている印象だ。聞くところ、泰山木、金木犀、椿、せんだんの木などです、と教えられた。

西方音楽館の名は、2000年頃から使っていた。当時は大学生の頃から教えていたピアノや子育て中に出会ったわらべうたを指導しているようにコンサートを開催するようになるのは、そこから10年余り後のこと。開館以来館長を務める中新井紀子さんは、宇都宮市に生まれ、自宅に近い宇都宮女子高から東京藝術大学に進み、音楽学部薬理科でカントなど音楽哲学を学んだ。その後、大学院に進み、パイプオルガンを研究。「バッハの一世代前のオルガニストで作曲家のデイトリヒ・ブクステフーデのオルガンコラールを調べていました」。

結婚を機に、現在地に移るが、次第に音楽への愛がふくらみ、より多くの方に良質の音楽を提供できたらとの思いが強くなった。その

意思をバネに、サントリーホール、カザルスホールなどの音響設計を手がけた永田穂(ながたみのる)さんに音楽ホールの音響設計を依頼。完成の後、オープンングコンサートを開催したのが2012年2月12日。これが友の会主催による第1回目のコンサート。コンサートを開催するには、もちろん資金が必要だ。そこで、「コンサートの資金を支えていただくことと、聴衆として来ていただくために友の会を作り、会員の制度を作りました。だからといって、会員以外の方ももちろんコンサートを聴くことができます」。現在、友の会コンサートは107回を数える。

「今、加速思考症候群が問題になっているようです。ゆつたりゆつたりと過ごせない人が増えています。昔の人は茶飲み友達と無駄話したりのんびり過ごしたり。ただけ今は、時間に追われている人が多いんじゃないでしょうか。人間って、ほっとする時間が大切。そういうのにクラシック系の音楽がとも向いています。西方音楽館は、普段の忙しさから解放されて、ゆつたりした心で音楽を楽しめる

● 情報をお寄せください。
E-mail mokashibun@gmail.com
<http://www.mokashibun.jp/>
<http://www.instagram.com/oyamamarugotoshinbun>

次回発行は
7月21日(金)です。



A.ワルター
1795年モデル、
クリストファー・
クラーク
1994年製作、
故小島芳子愛用の
銘器

とこです」。ご自身は、ショパンのノクターンとバッハのオルガン曲がお気に入り。「ショパンは、ジョルジュ・サンドともうまくいかないし、失恋ばかりしてるんです。辛い思いをした人の音楽はいいですね」。7月23日には、友の会主催第108回コンサート、七條恵子さんのフォルテピアノリサイタルが開かれる。西方音楽館常設の銘器故小島芳子愛用のワルターモデル・フォルテピアノが使用される。「ここは、フォルテピアノとチェンバロが美しく響く空間です。しかも演奏者の息遣いさえ感じられますので、ぜひ体験しにいらしてください」。緑はさらに深みを増し、緑陰が気温を下げてくれるような時期。駐車場から会場までの小さな森を、フィッシュリッジを浴びながら抜けていく感覚。しばし、時を忘れ、ゆつたりと時を過ごしてみたいかがでしょうか。



@Michel Marang
七條恵子さん